

THORENS

トーレンス輸入代理店

株式会社バラッド

〒156-0043

東京都世田谷区松原1-39-17-1F

TEL 03-3324-4260

FAX 03-3324-4261

www.ballad.co.jp

ご購入されたThorens社製ターンテーブルについて、ご質問
ご不明点等ございましたら、お近くのThorensディーラーま
たディストリビューターによるカスタマーサービスを受ける
ことができます。

また、ご購入の製品をThorensのウェブにご登録していただ
くと、不定期で最新情報・会員様だけに公開されるスペシャル
情報をお送りさせていただきます。（英文となります。）

Thorensウェブサイト

www.thorens.com/register

アクセスの際、製品に同梱された登録カードが必要となります。

保証について

この製品の保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。通常のご使用で、万一保証期間内に故障した場合は、下記の事項を除き無償修理をさせていただきます。

- 誤った使用方法及び不適切な修理・改造が行われたことによる故障及び損傷。
- お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障及び損傷。
- 火災・天災等による故障及び損傷。
- 一般家庭用以外でのご使用（業務用など）された場合の故障及び損傷。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書にお買い上げ日の記載が無い場合。或いは保証書記載の字句を改変された場合。

保証期間内に故障が発生した場合、製品に同梱されている保証書をご提示の上、保証期間内修理（無償修理）をご依頼ください。

万一、保証書にお買い上げ日の記載がない場合は、「お買い上げ店名」「お買い上げ商品名」「お買い上げ日」が全て記載されている領収証、納品書などをご提示いただく場合がございます。

● **シャリシャリした、高音ばかりが強調された音になる**

☆本機はイコライザ機能を持っていませんので、お使いになるアンプの PHONO 入力端子、イコライザ入力端子、レコード入力端子などに接続して使っていただく必要があります。AUX 入力端子、ライン入力端子、INPUT 端子などに接続すると正常な再生音となりませんのでご注意ください。

● **音が歪む**

☆本機に付属しているカートリッジは比較的出力の高い MM 型カートリッジです。本機の出力をプリアンプ・プリメインアンプの MC 入力端子などに接続されると、過大入力の為に再生音が歪むことがありますのでご注意ください。

● **左右の音量バランスが良くない**

☆大抵の場合、接触不良が原因です。

● **アームリフターが上がりきらない**

☆カートリッジの高さ調整は正しく行われていますか？

● **トーンアームのゼロバランスが取れない**

☆TP41 型アームでご使用になれるカートリッジの最大自量は 8g 以下です。この範囲を超えるカートリッジをお使いになると、トーンアームのゼロバランスを取ることが出来ませんのでご注意ください。

● **針飛びがして再生できない**

☆カートリッジは正しく針圧調整をしないと、針飛びがして正常に再生することができません。本機に付属の AT95-E カートリッジの推奨針圧は 1.5g から 2.5g ですので、これを超過しない範囲で正しく針圧を調整してください。針圧はカートリッジの種類により異なりますので、AT95-E 型以外のカートリッジをお使いになる場合は、カートリッジの取り扱い説明書に従い、正しく針圧を調整してください。

☆本機に付属のトーンアームで印加することのできる最大針圧は 3g です。これを超える針圧を印加する必要があるカートリッジは、本機では使用することが出来ません。

故障かなと思ったら

何らかの動作不良を起こした場合、故障と思う前に以下のような原因と考えられるポイントを点検してください。また、不具合の原因が本機以外の他の機器にあることも考えられますので十分に点検してください。

● プラッターが回転しない

☆本体電源ジャック、ACアダプターの接続を点検し、必要に応じて接点のクリーニングを行ってください。

● ベルトが外れてしまう

☆ベルトに脂等が付着していませんか？ クリーニングを行うか、必要に応じて交換をしてください。また、ベルトの寿命は通常のご使用で1年程度です。

● 音が出ない

☆アンプとの接続は正しいですか？

☆カートリッジのリード線の接続は正しいですか？

☆音が歪む場合はアンプの入力モード（MM・MCの選択等）は正しく設定されていますか？ 付属のAT95-E型はMM型カートリッジです。

☆カートリッジの高さ調整、アンチ・スケーティング調整、オーバーハングの設定は正しく行われていますか？

☆針圧の設定は正しく行われていますか？ ご使用になるカートリッジの最大針圧の範囲で少しずつ針圧を上げていき、歪みが最小になるように調整します。

付属のAT95-E型カートリッジの最大針圧は2.5gです。

☆各部の接触や、針先に汚れやごみが付着していないか、点検してください。

☆レコード自体のプレス、カッティングの状態等、レコードの盤質に原因がある場合もあります。

● ハムノイズ（ブーンという音）が聞こえる

☆本体を他の機器付近に設置していませんか？ カートリッジが他の機器の漏れた磁界を拾ってしまい、ノイズが発生する場合があります。

☆グラウンド用（アース用）ケーブルは、アンプのグラウンド端子（アース端子）に正しく接続されていますか？

☆ご使用のカートリッジのボディが金属製の場合、ボディとグラウンドを接続しているジャンパーチップをピンセット等で外してみてください。なお、本機に付属のAT95-E型にはジャンパーチップは用意されていません。

☆出力プラグ、アンプのPHONO入力端子、ヘッドシェルのコネクターやリード線の接点を清掃してください。

スタイラスの交換

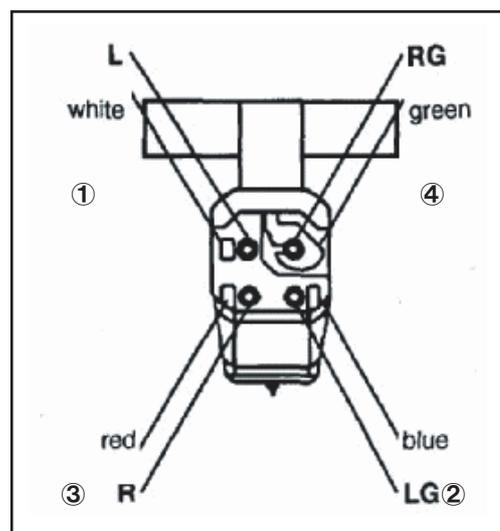
- カートリッジのスタイラス（交換針）は長時間使用すると摩擦します。本機に付属の AT95-E 型の場合は演奏時間およそ 1000 時間を目安に交換してください。摩擦したスタイラスをそのままご使用になりますと、レコードの音溝を損傷することがありますのでご注意ください。

カートリッジの交換

標準付属の“AT95-E”の代わりに別のカートリッジを取り付ける場合は、下記の条件の範囲内のカートリッジであれば、本機で使用することができます。使用・規格に拘わらず、ヘッドシェルー体型のカートリッジは、本機ではご使用にはなれません。

- 取り付け穴間隔が 1/2 インチ (≒ 12.7mm) であること。
- 針圧が 3g から 10g までであること。
- TP41 アームの場合はカートリッジ自重が 2.5g から 7g までであること。

1. ヘッドシェル固定ネジを緩め、カートリッジを注意深く取り外します。
2. カートリッジに接続されている 4 本のリード線を外します。
3. 新しいカートリッジを取り付け、固定ネジを緩めに緩めておきます。リード線 4 本をそれぞれの色に対応するよう、カートリッジのピンへ接続します。
 - ① 白：左チャンネル+(ホット)
 - ② 青：左チャンネル-(コールド)
 - ③ 赤：右チャンネル+(ホット)
 - ④ 緑：右チャンネル-(コールド)



本機に付属の AT95-E 型以外のカートリッジをご使用になる場合、カートリッジの機種によってはカートリッジの高さ調整をする必要がありますので、その場合は市販のスペーサーなどをお使いください。なお、スペーサーをお使いになると結果的にカートリッジが重くなりますのでゼロバランスが取れず、本機ではご使用になれない場合があります。

4. 接続が終わったら、カートリッジの固定ネジを十分に締めてください。

演奏の開始と停止

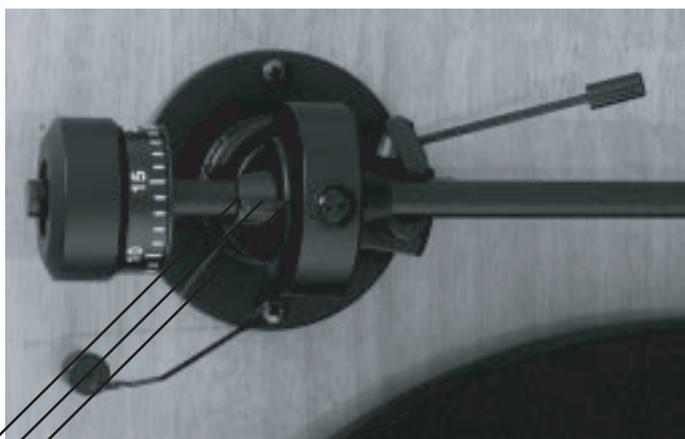
- START/STOP ボタンを押すとプラッターが回転します。
- アームリフターレバーを上げ、トーンアームをレコード溝の演奏したい箇所まで移動し、アームリフターレバーを下げます。
トーンアームが盤面に降りて演奏を開始します。
- 演奏を停止するにはアームリフターレバーを上げ、トーンアームをアームレストに戻します。
START/STOP ボタンを押すとプラッターの回転が止まります。
- TD295MK IV はセミオートマチックのプレーヤーです。
カートリッジがレコード溝の最後まで到達すると、自動でプラッターの回転が止まります。

7. 本機に付属の AT95-E カートリッジの指定針圧は 2.0g ですので、針圧調整リングを “2.0” の位置まで廻します。この時、カウンターウェイトは廻さないようご注意ください。

8. 針圧調整が済んだら、アンチ・スケーティング・ウェイトを、トーンアーム後部の溝に取り付けます。取り付ける溝の位置によって、アンチ・スケーティングの値を三段階選ぶことができます。

右写真のカートリッジの針圧とおおよそ同じになる位置にウェイトを取り付けて下さい。

- ① 第一段：1-1.5g (10-15mN)
- ② 第二段：1.5-2.0g (15-20mN)
- ③ 第三段：2.0g 以上 (20mN 以上)



③ ② ①

アンチ・スケーティングとは？

プラッターの回転中、針先とレコードの音溝間の摩擦によって、トーンアームを内周方向に引っ張ろうとする力が発生します。この力をスケーティング・フォース(またはインサイド・フォース)と呼びます。この力によって、レコードの音溝の外壁に比べて内壁の方により大きな力が掛かるため、針先は音溝を正しくたどることが出来ず、正常なステレオ再生が出来なくなってしまいます。

この力をキャンセルするための力が “アンチ・スケーティング・フォース” でアンチ・スケーティング・ウェイトはその値を設定するためのものです。スケーティング・フォースは針圧によって変化するため、針圧に併せて適切な値に設定する必要がありますが、本機では針圧の数字と同じ値に設定すれば適正なアンチ・スケーティング・フォースが得られるように設計されています。

操作の仕方

回転速度とスタート/ストップの選択

本機では、お聴きになるレコードに併せて 33-1/3 回転、45 回転と、速度切り替えノブにて切り替えることができます。レコード盤の回転数表示をご確認の上、いずれかに切り替えてください。

回転速度の切り換えは、本器手前左端の切り替えスイッチ(写真左側)で行います。START-STOP スイッチ(写真右側)で回転のスタート/ストップを切り替えます。



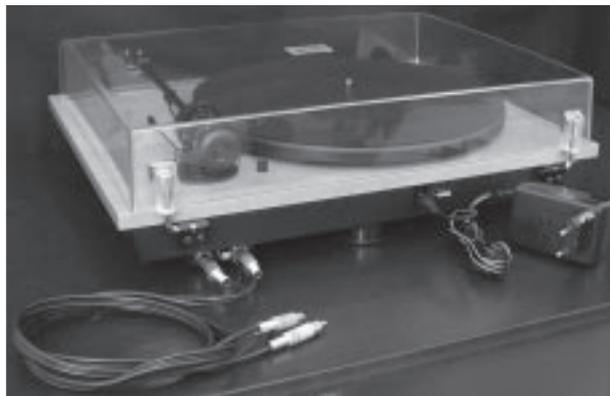
カートリッジの針圧調整



本機には専用トーンアーム TP41(上写真)が取り付けられており、カートリッジは AT95-E が付属しています。正確なレコード再生を行うにはカートリッジのスタイラス(針)に掛かる重さ(針圧)を正しく調整することが大切です。

1. 針圧を掛けるための重り(カウンターウェイト)をトーンアーム後部にねじ込んで取り付けます。
2. トーンアームをアームレストより持ち上げ、センタースピンドル方向へ僅かに動かし、アームリフターレバーを下げます。
3. カートリッジの針先を保護するスタイラスカバーを慎重に外します。
4. トーンアームをアームレストとプлатター最外周との間の位置に置いて、トーンアームが水平を保てるかどうか確認します。
トーンアームが上にも下にも傾かないように水平バランスが取れるまでカウンターウェイトを廻して調整します。(これをゼロ・バランス調整と言います。)
5. トーンアームのバランスがとれたら、トーンアームをアームレストに戻します。これが針圧“0”の位置です。この状態から針圧を設定していきます。針圧メモリリングは0gから1.5g刻みで、1.5gから3.0gまでは0.25g間隔でメモリが振ってあります。

接続と設置



本体背面



図 3



図 4

1. 本機は付属の AC アダプターを介して電源供給を受けるようになっています。

AC アダプターのプラグを本体背面右側のソケットに差し込み（図 3）、AC プラグを最寄りのコンセントに差し込んでください。

2. 本体背面から出ているピンケーブルのプラグをご使用のアンプの“PHONO(フォノ)”入力端子に正しく接続してください。（図 4）

Rと表示された赤いプラグが右チャンネル、Lと表示された白いプラグが左チャンネルとなります。ご使用のアンプにPHONO(フォノ)入力がない場合は別にフォノ・イコライザー・アンプが必要となります。

3. 本体背面から出ているもう1本の細いケーブルはグラウンド用(アース用)ケーブルです。

これをアンプのグラウンド端子(アース端子)に接続してください。グラウンドが不完全な場合、ハムノイズが発生することがあります。

- 本機は外部からの振動の影響を受けにくい構造となっておりますが、特に高感度なカートリッジをご使用の場合は、外部振動やスピーカーからの音圧が音楽再生に悪影響を与えることがあります。設置の際は、スピーカーや床の振動を受けない堅牢な場所を選んでください。

- アンプ、CDプレーヤーなど、他の機器の電源部からのリーケージ・フラックスの影響で、ハムノイズなどの雑音が発生することがあります。設置の際は、こうした機器と十分な距離を保ってください。



本機に付属のACアダプターは本機専用です。他の機種にはご使用にならないでください。また、他の機種のACアダプターを本機にご使用いただく事もお止めください。

開梱と組み立て

1. 開梱を開け、発泡材の中に以下のものが収納されていることをご確認ください。

取扱説明書

アンチースケーティングウェイト、ダストカバー
フェルトマット付プラッター、レコードプレーヤー本体
ドライブベルト、シングル盤（EP 盤）用アダプター
トーンアームのカウンターウェイト、AC アダプター

2. ドライブベルトをサブプラッターに回しつけます。（図1）
3. メインプラッターをサブプラッター上に乗せ最後にフェルトマットを付けます。

※2. 3の操作時に油分がベルトとサブプラッターの外部表面に付着しないようご注意ください。付着した油分は、両パーツとも純アルコールを塗布したクロス等を使用し、拭き取ることが可能です。

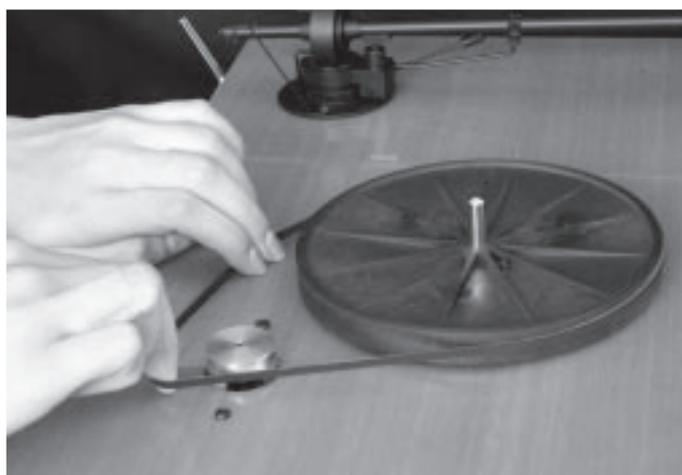


図1

4. 本体後部にヒンジでダストカバーを付けます。（図2）



図2

TD295MKIV製品仕様

測定値＝標準的な値

ベルトドライブ	電動DCモーター
メイン電圧 (本体)	100 V (AC)
オペレーション	セミオートマチック
回転速度	33 1/3, 45 U / min
プラッター	φ304 mm / 2.3 kg
トーンアーム	THORENS TP4
カートリッジ	AT 95E
ケーブルキャパシタンス	160 pF
総重量	8.5 kg
寸法 (W x H x D) mm	434 x 339 x 131

ACアダプターについて

本機に付属のACアダプターは本機専用です。他の機種にはご使用にならないでください。
また、他の機種のACアダプターを本機にご使用いただく事もお止めください。

使用上のご注意

ドライブベルトについて

本機はドライブベルト方式となっております。ターンテーブルを回転させるドライブベルトはご使用の頻度に関わらず、1年に1回程度を目途に交換を行ってください。

スタビライザー類について

スタビライザー類をお使いになる場合は、できるだけ軽量のものをお使いください。

本器はフルオート機構付きのレコードプレーヤーで、フルオート機構の動作の動力源は、ターンテーブルを回転させるモーターに依存しています。必要以上に重いスタビライザーをお使いになると、回転ムラ等不具合の原因となります。

“ブーン”というハム音について

アース(グランド)の配線が正しく行われていないと、“ブーン”という低い低音(ハム音)が常時発生する場合がございますのでご注意ください。本機のアース線は正しくプリメインアンプ、プリアンプ、イコライザアンプなどのグランド端子(アース端子)に接続してください。

給油について

本機の軸受けにはオイルレスメタルを使用しておりますので、原則としてターンテーブルの軸受けに給油・注油しますと不具合が発生することがありますのでご注意ください。

はじめに

トーレンス ユーザーのみなさま

この度は、トーレンス TD295MKIVをお買い求めいただき誠にありがとうございます。
フォノグラフ・レコードは20世紀の文化歴史上における重要な発明の一つです。
TD295MKIVでこの発明の素晴らしさを楽しんでいただけることでしょう。
このプレーヤーには重厚な硬木製シャーシを使用し、音質劣化の原因となる歪みを抑えられます。精密に制御されたモーター及び電子部は、音の劣化干渉を防ぎます。

本機の性能を最大限に引き出し、純度高いアナログ再生を末永くお楽しみいただけますよう本説明書をよくお読みいただき、ご愛用いただきますようお願い申し上げます。

THORENS TEAM

思わぬ事故を防ぐために

長時間ご使用にならない時は

本機はACアダプターをコンセントに差し込むことにより常時電源が入る設計になっており、電源をON/OFFするスイッチ等はありません。従って、長時間ご使用にならない場合はACアダプターをコンセントから抜いてください。

本機に付属のACアダプターは本機専用です。本機以外の用途にはご使用をおやめください。また、他の機種種のACアダプターを本機にお使いになることも製品の安全上おやめください。

正しくご使用いただくために

TD295MKIVのターンテーブル軸受け部はオイルレスメタルを使用しており、注油は不要です。注油が必要な際はお買い上げ販売店、または当社技術サービス部までご連絡ください。ドライブベルトは通常の使用で1年位1回程度交換を行ってください。

梱包材について

アナログ・プレーヤーは構造上、輸送の際には細心の注意が必要となります。本器の Karton、梱包材は、お引越しや修理等、輸送の際に必要となりますので保管していただくことをお勧めいたします。



火災や感電の危険防止の為、雨や湿気の多い場所への設置はお避け下さい。

THORENS

analogue turntable system
TD295MK IV



取扱説明書